

平成15年度学力向上フロンティア事業中間報告書(中学校)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	高山村立高山中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	0	6	15
生徒数	41	45	58	0	144	

研究の概要

1. 研究主題

個に応じたきめ細かな指導の工夫 ~生徒の実態に視点をあてて~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

学年	授業形態(数学)	授業形態(英語)
1	希望選択	各クラスを習熟度別2コースに編成 一部TT
2	2クラスを習熟度別3コースに編成	
3	希望選択 各クラスを習熟度別3コースに編成	

・全学年・英語、数学

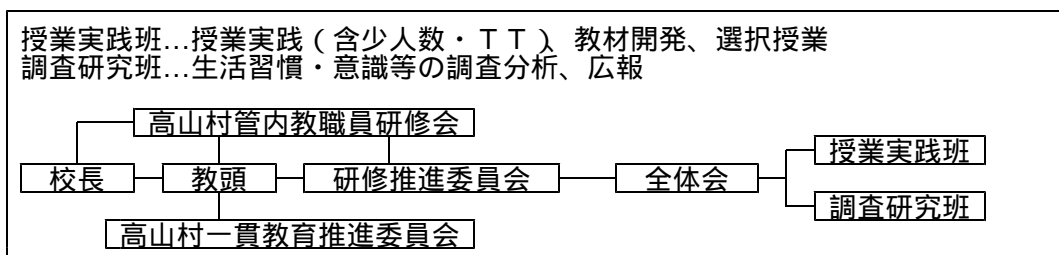
数学科で3年生の分け方が違うのは、3年生が他学年よりも人数が多いこと、学力分析の結果から個別指導を要する生徒が他学年よりも多く、過年度の学習内容の復習も合わせてしていく必要があるためである。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 個に応じたきめ細かな指導の工夫 ~生徒の実態に視点をあてて~</p> <p>研究の見通し 生徒の生活習慣等の実態把握をして改善を図り、その上で授業時間中の指導方法の工夫やTT・少人数等、指導体制を工夫して個に応じたきめ細かな指導をすれば、学習への意欲や集中力が増し、基礎的・基本的な学習内容が定着するであろう。</p> <p>研究の内容・方法 調査研究班 学力テスト分析・各教科における学力分析・基本的生活習慣調査及び分析 授業実践班 数学、英語科における少人数指導(習熟度別)の実践及びその検討・改善</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 個に応じたきめ細かな指導の工夫</p> <p>研究の見通し 生徒の実態を十分にふまえ、T T・少人数指導を中心とした個に応じたきめ細かな指導の一層の充実とともに、学習への意欲や集中力を持続させることにより、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着が図られるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 ・15年度の成果と課題をふまえ、授業実践を通して、より個に応じたきめ細かな指導の工夫をする。 ・学力の変化を客観的に考察し、日々の授業に生かしていく手立てをさぐる。 ・調査研究班の提案を受け、よりよい学習環境作りの検討をする。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・生活習慣等の調査をしたことで、生徒の家庭での様子も含め、実態が見えてきた。今後、広い意味での学力向上につながる取り組みを探っていく参考になった。
- ・教師は授業改善を意識するようになり、徐々にではあるが、生徒の授業への関心は高まってきているようだ。

2. 今後の課題

- ・今年度に行った実態調査から、「高山中」の生徒に応じた指導の工夫を具体化し、実践していく。
- ・生徒の学習への興味・関心の高まりが、確かな学力の向上に確実につながるよう、積極的な家庭学習を促す工夫をしていく。
- ・生徒の実態に合った教材研究を工夫するとともに、より効果的なT Tや少人数指導のあり方を検証していく。
- ・少人数学習を行ってきた新2、3年の学力の変化を客観的に考察し、また日々の授業を評価し、次の指導につなげていく。
- ・計算の基本的技能や国語の読み書きなどは、小学校との連携を深めていく。

学力把握のための学校としての取組

- ・広い意味での「学力」把握として、基本的生活習慣調査を行い、分析した。
- ・各教科で「個に応じたきめ細かな指導の工夫」と題し、学力分析及びそれに対するきめ細かな指導についてまとめた。
- ・習熟度別少人数学習を進めている1、2学年については、来年度に全国標準学力検査等で、学力の変化を分析する予定。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・高山村管内教職員研修会研究発表会（3 / 3、於いぶき会館）
村内の幼稚園・小中学校の研修の実践報告会。
- ・本年度の研修の紀要作成及び管内配布。
- ・管内の職員を対象とした授業公開。
- ・Webページ公開

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	